



にこにこタイムに

遊びに来てね☆

子 育て支援センターでは、未就園児とその保護者を対象に、親子触れ合いの場の提供や、利用者同士の横のつながりを深めることを目的に、「にこにこタイム」という遊びの時間を実施しています。(毎週月・水曜日：午前10時45分～11時[申込不要])

センター職員と一緒に、季節の行事や親子触れ合いあそび、体操、紙芝居、パネルシアター、製作などを楽しんだり、地域のボランティアの方々にご協力いただき、大道芸や太極拳などを教えていただいたりと、内容はさまざまです。毎月発行の子育て支援センターだより「さくらんぼ」に詳しい内容を掲載してありますので、ご覧ください。

まだ、にこにこタイムに参加したことのないお友だち、ぜひ一度遊びにきてくださいね。子どもたちのにこにこ笑顔がいっぱいの楽しい時間になること間違いなしですよ！



絵の具をベタベタ。ダイナミックな作品に仕上がりました。



毎月**第2土曜日**に子育て支援センターを開放します！

9月から、第2土曜日の午前9時から正午まで、当センターを開放します。

お仕事がお休みのお父さん、お母さん、休日のおさんの遊び場にぜひご利用ください。

お待ちしております。

※開放日は変更する場合がありますのでご了承ください。

※お問い合わせ先

子育て支援センター ☎32-0192



経鼻胃カメラについて

胃の病気をもつ方にとって朗報です。つらくない胃カメラがあるのです。

口からの胃カメラは「おえ～」となるのがやはり一番のつらさでした。このつらさがほぼ無いのが経鼻カメラです。

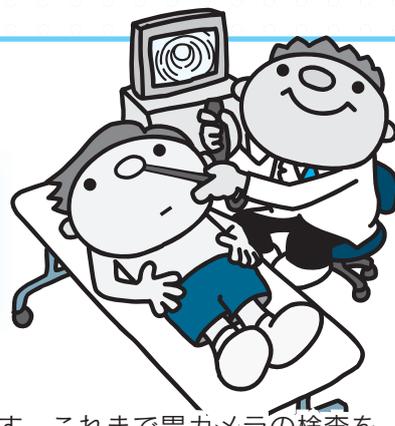
経鼻胃カメラとは...

経鼻カメラの特徴として、

- ①嘔吐反射がほぼない(おえ～とならない)
 - ②会話をしながら検査できる(安心・リラックス)
 - ③薬を使う必要がないので安全
- などがあります。

実際、この検査を受けた方にアンケートをとった結果では、次回の胃カメラを口よりも鼻からしたいと答えた方が90%を超えました。胃の痛みを感じる方、胸やけを感じる方、食欲が落ちた方などは、胃潰瘍、胃がんが隠れている場合も少なくありません。

もちろん鼻からのカメラで幅広い消化器疾患



の診断が行えます。これまで胃カメラの検査をためらっていた方は、是非一度受けてみるというでしょう。

今後の医療

今後、カプセル型の内視鏡も期待されていますが、現時点では食道・胃・十二指腸にはまだ認められていないのが現状です。

現時点では経鼻カメラが一番楽な胃カメラと考えて良いでしょう。

※お問い合わせ先

東部診療所(村寄医師) ☎37-2911

町誌よもやま話

(117)

人は「語る・歌う」、美浜の口承文化

人は片時も言葉なしには生きられない存在です。たとえ無言であつても、心の中ではなにごとかをつぶやいています。言葉で物事を認識し、状況を判断して行動をおこします。万物の霊長としての人間と他の動物を区別するものが、ひとつには言語の使用にあるとされており、ひとえに、人は言葉によつてものごとを考えることができるからです。

言葉は決して単なる記号ではありません。さまざまな感情や知識、伝承、風土性などがたつぷりとこめられています。いわば言葉には文化のDNAが蓄積されており、人間の出自や活動のアイデンティティを保障するものといえます。「言葉はかけがえない文化遺産であり、アイデンティティの根拠ともなる」と巻頭のグラビアに記された『わかき美浜町誌 美浜の文化第五巻 語る・歌う』は、二〇〇三年度に刊行。「方言」「命名」「俚言」「民謡とわらべうた」「口承文芸」「オドケの言葉」「遺された言葉」「戦争体験」「地名の伝承」と全十章に章立てされ、町内全域から採集された生彩ある美浜の言

語文化がこの一卷に凝縮されています。

まず第一章の「方言」では、福井県の方言区画で「嶺北方言（越前弁）」と「嶺南方言（若狭弁）」に分類、美浜方言の音韻・アクセント・語法・表現法が詳しく分析され、「挨拶表現」や「生活語彙」が例示してあり、実に約二千語にもおよぶ美浜の方言（生活語彙）が掲載されています。

さらに「肩車」や「蟻地獄」「こおろぎ」「かめ虫」「あぐら」「つらら」「木製雪掻き具」「うるち米」「桑の実」「にこりになる」「仕事の合間の間食」「おやつ」「じゃんけん」「めんこ」などの方言分布と使用例が分布図付きで解説され、いかに美浜の方言が多彩で豊かな表現力を培ってきたかがわかります。

たとえば「遺された言葉」の冒頭に、「シリカゲを拝む」という久々子で採集された、『広辞苑』にも見られない言葉が掲載されていますが、なんと奥ゆかしく味わいのある言い回しでしょう。「シリカゲ」とは「後ろ姿」のこと。嫁姑の葛藤を経て、病床についた姑が感謝を

こめて日々嫁の後ろ姿を拝んで過ごしているとの意味合いがこめられています。日常生活の哀愴がこのひとことでよみがえってきます。

「オドケの言葉」は、新庄の八朔祭りに登場する、お道化役の看板に書かれた地口ですが、今年はいったいどのような世相批判が記されるのか、それは見てのお楽しみ。

（美浜町誌編纂委員会委員長

金田久璋）



『語る・歌う』より
ゲット（あぐら）をかいての夕涼み [菅浜・昭和32年]

短歌

息をつく暇なき程に打ち上ぐる

花火見上げて夢見る心地

浅妻 順（大藪）

蜂に刺され腫れし腕をば娘見て

恐々摩り大丈夫かと云ふ

亀谷 茂（早瀬）

わが思ひ一途に歩むその陰を

つくろひくれし妻ありてこそ

山本 善昭（竹波）

サツシ戸を開けて玉葱食べあらし

音なく去りし猿の一群

宇都宮 恵美子（佐柿）

清し朝早くに起きて朝顔の

いくつ咲きしか癒さるるとき

前田 喜美子（上野）



7/1~7/31 受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏名	性別	父・母	住所
内田 翔真 <small>しょうま</small>	男	将規・絵美	佐田
山本 莉子 <small>りこ</small>	女	道治・麻弥	郷市
山口 歩士 <small>あゆと</small>	男	一利・里江子	気山
八木 星哉 <small>せいや</small>	男	宏樹・弥生	郷市
山路 倅彩 <small>さあや</small>	女	佑一・優子	太田
山口 莉希 <small>りの</small>	女	泰弘・愛	太田
吉本 羅生 <small>らせい</small>	男	達郎・あずさ	菅浜

◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
原田 鈴子	佐野	90歳	原田 壽夫
竹本 比佐子	河原市	52歳	竹本 三代一
仲 嶋 傳治	南市	73歳	仲 嶋 卓美
田 邊 ユキノ	河原市	85歳	田 邊 敏秋
大野 千代子	中寺	92歳	大野 勇夫
中村 和子	久々子	77歳	中村 弥守雄
前田 達雄	佐野	95歳	前田 静子

わが家のアイドル



佐々木 智晃さん・真美さん
(佐田)の長女

もえ
萌咲ちゃん (1歳6か月)

お外で遊ぶのが大好き！いつも公園の滑り台で遊んでいるよ。
お家では、大好きな歌で踊るのが得意だよ！おしゃべりも上手にできるようになったよ。早くお友達といっぱいおしゃべりしたいな～☆

町人まちびとさん



七夕まつりを企画実践されている
彌美神社宮司

田中 雅実さん(宮代)

*七夕まつりを企画したきっかけを教えてください。

一人でも多くの人にお宮さんにお詣りいただき、神社に親しみをもってもらいたいと思ったのがきっかけです。

*なぜ「七夕」なのですか？

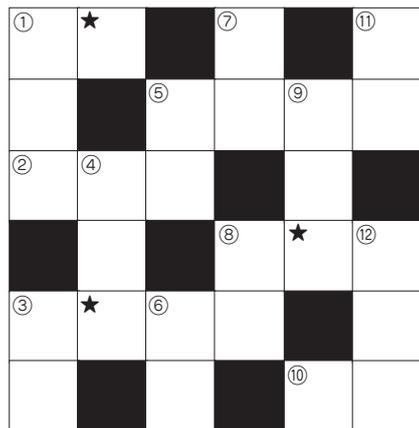
当初、私の中で夜に灯籠を並べ幻想的なイメージの中、行事をしたいとの思いがあり、そこでひらめいたのが竹灯籠を並べた天の川でした。3年前に雅楽会に話をもちかけ、有志5人で始めましたが、今ではたくさんの方に協力いただき開催しています。

*町民の皆さんへ一言。

このゆとりのない時代にゆったりとした時間を過ごしてもらえるように、来年以降も続けていきたいと思っておりますので、どうぞ、お参りください。

広報みはま・ハートフルクイズ

語群の文字を1回使ってマスをうめていき、★のつけたマスの文字を並び替え、美浜町の土地・地区・場所・の名称をつくってください。



例

カ	ン	サ
イ	ン	
コ	ウ	ソ

語群 | 冠婚葬祭 | カンコンソウサイ

- ◇タテのカギ
- 工場などを招き寄せること
 - チジミ等に入っている緑色野菜
 - 違法に輸出入すること
 - 海の〇〇・山の〇〇
 - 干支の7番目
 - 丁の反対
 - 十字路のこと
 - 工事を実施すること
 - 人体に2つある呼吸を行う器官
 - 地球を研究対象とする理科の科目
- ◇ヨコのカギ
- 英語で「1」を表す接頭辞
 - 血管のこと
 - 生後1年頃までの小児
 - 反対の反対
 - お知らせすること
 - 賞状を入れる枠のこと

●応募方法

はがきに、答えと住所、氏名(お便りも大歓迎!)を書いて、町企画政策課「広報みはまハートフルクイズ」係(〒919-1192美浜町郷市25-25)まで送ってください。

締切りは、9月10日(木)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】

kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp

【QRコード】



●8月号の答え 精霊船

●当選者

応募者総数は11人で、10人が正解でした。抽選の結果、次の方々が当選されました。

大迫としみさん(河原市)・堀場光子さん(敦賀市)
水上 利子さん(河原市)・山口健太郎さん(太田)
武田 久子さん(久々子)

■くらしのカレンダー■

平成21年9月

1 (火)	八朔祭(新庄) 13:00~心配ごと相談(はあとびあ) 13:30~こころの相談室(はあとびあ)	16 (水)	13:30~離乳食講習会(はあとびあ) 古紙 (東地区)
2 (水)		17 (木)	10:00~わらべうたをたのしむ会 (町立図書館) 16:00~孫とたのしむ絵本と折り紙(町立図書館)
3 (木)	10:00~親子おはなし会(町立図書館) 古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	18 (金)	10:30~さくらんぼひろば (子育て支援センター)
4 (金)	9:00~特定健診[基本健診]・肺がん・前立腺がん検診(はあとびあ) 12:30~特定健診[基本健診]・肺がん・前立腺がん検診(中央公民館) 15:00~特定健診[基本健診]・肺がん・前立腺がん検診 (興道寺農業研修センター)	19 (土)	連合体育大会 (丹生小・美浜中丹生分校グラウンド)
5 (土)	八朔祭(日向)~6日 9:00~みはまっ子塾[しじみとり体験] (久々子湖) 10:30~おはなしのじかん(町立図書館)	20 (日)	新庄地区合同体育祭(新庄小学校グラウンド) 14:00~矢筈うたごえサークル 7周年記念コンサート(中央公民館)
6 (日)	13:30~ふるまい美人「キレイな歩き方」講座 (中央公民館)	21 (月)	敬老の日
7 (月)		22 (火)	国民の休日
8 (火)	13:00~心配ごと相談(はあとびあ)	23 (水)	秋分の日
9 (水)	古紙 (北・南地区)	24 (木)	13:00~1歳6か月児健診(はあとびあ)
10 (木)	13:30~1歳児健診(はあとびあ) 古紙 (河原市・南市・栄区)	25 (金)	
11 (金)	19:30~町民人権講座(中央公民館)	26 (土)	8:30~美浜町民健康マラソン(町民広場) 11:00~美浜を楽しむ散策会 (若狭国吉城歴史資料館)
12 (土)	美浜中学校文化祭(美浜中学校)	27 (日)	菅浜小体育大会(菅浜小学校グラウンド) 8:30~ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (~12:00 エコクル美方) 13:30~もてなし美人「日本茶の淹れ方」講座 (中央公民館)
13 (日)	美浜中学校体育祭(弥美小学校グラウンド) 8:30~ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (~12:00 エコクル美方)	28 (月)	
14 (月)	9:00~特定健診[基本健診]・肺がん・前立腺がん検診・胃がん検診 (早瀬観光センター) 13:30~特定健診[基本健診]・肺がん・前立腺がん検診(日向漁村センター)	29 (火)	10:30~さくらんぼひろば(総合体育館) 13:00~心配ごと相談(はあとびあ)
15 (火)	9:30~未就園児保育園開放(せせらぎ保育園) 13:00~心配ごと相談(はあとびあ) 13:00~弁護士法律相談(はあとびあ) 13:00~土地建物登記法律相談(はあとびあ) 13:30~こころの相談室(はあとびあ)	30 (水)	

9月の納税(納期限9月30日)
町県民税(2期)・国民健康保険税(3期)

- イベント ● 健康診断・検診 ● 子ども行事 ● ごみ・資源回収
- 行事の予定は、8月17日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
- 網かけの日は、役場はお休みです。
- **古紙** は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。 ● 毎週金曜日は **カー・セーブデー** です。
- 休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

人口の動き

人口総数	前月比
10,951人	(+12)
男 5,328人	(+12)
女 5,623人	(± 0)
世帯数	
3,770世帯	(+ 9)
平成21年8月1日現在	

▽表紙の写真
7月26日に彌美神社で開催された「七まつり」の会場を撮影しました。境内には、天の川をイメージした竹灯籠(約700個)が並べられ、訪れた人を魅了していました。
※七まつりの様子は、17頁のまちウオッチングをご覧ください。

今回、沿革として掲載した内容はごく一部で、全てをお伝えすることはできませんでしたが、この記事を書きかけに、旧校舎での思い出をご家庭や友人たちと語っていただけると幸いです。最後になりますが、今回の編集にあたり、お忙しい中早く取材に応じてくださった方々、また、当時の写真や資料などを提供くださった方々に心より感謝します。(武)

こんにちは
企画政策課です。
今月号では、新校舎の完成に伴い、取り壊しが始まっている美浜中学校(旧校舎・体育館)の歴史を振り返りましたが、皆さんにとって懐かしい出来事はありましたか？
私も、同校の卒業生の1人ですが、当時の資料や写真を調べる中で知らなかったことがたくさんありました。
例えば、開校した年度は、各学級に「学級歌」があったことや、中庭の池の形が学校の校章となっていたことなど...
今回、沿革として掲載した内容はごく一部で、全てをお伝えすることはできませんでしたが、この記事を書きかけに、旧校舎での思い出をご家庭や友人たちと語っていただけると幸いです。最後になりますが、今回の編集にあたり、お忙しい中早く取材に応じてくださった方々、また、当時の写真や資料などを提供くださった方々に心より感謝します。(武)

